

テーマは「林業産出額（令和5年）」



東北の林業産出額は 726 億 9 千万円

東北の林業産出額（令和5年）は726億9千万円で、前年の908億3千万円から181億円（20.0%）減少しました。これは、製材用素材等の生産量が減少したことに加えて、価格も低下したためです（図1）。

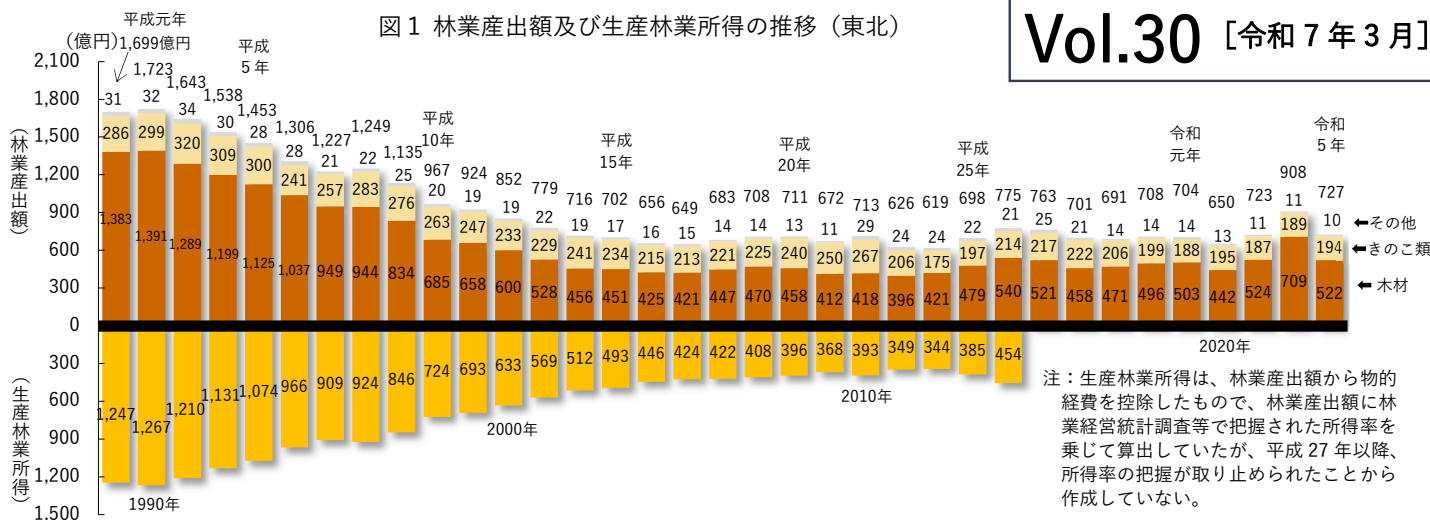
注：「都道府県別林業産出額」は、都道府県を推計単位とし、品目ごとの生産数量に、木材生産は樹種ごとの年間平均山元土場価格*、木材生産以外は庭先販売価格（消費税を含む。）を乗じて推計したものです。

*山元土場価格とは、素材（丸太）の市場価格から市場手数料、運賃等を控除した金額です。

東北の林業産出額は、各県の産出額を公表単位（千万円）で積み上げたものです。

表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合があります。

図1 林業産出額及び生産林業所得の推移（東北）



注：生産林業所得は、林業産出額から物的経費を控除したもので、林業産出額に林業経営統計調査等で把握された所得率を乗じて算出していたが、平成27年以降、所得率の把握が取り止められたことから作成していない。



全国トップ10に東北3県がランクイン

東北の各県ごとの林業産出額（令和5年）をみると、岩手県が192億円で東北で最も多く、全国順位は5位となっており、続いて秋田県（146億円）、福島県（134億円）も全国順位トップ10に入っています（図2）。

また、全国の都道府県ごとに林業産出額が一番多い品目をみると、「すぎ」が23府県で最も多くなっており、東北6県は全てが「すぎ」となっています（図3）。

図3 各都道府県の1位品目（令和5年）

品目	県数
すぎ	23
ひのき	7
まつ類	2
広葉樹	1
しいたけ	7
えのきだけ	1
ぶなしめじ	4
まいたけ	2

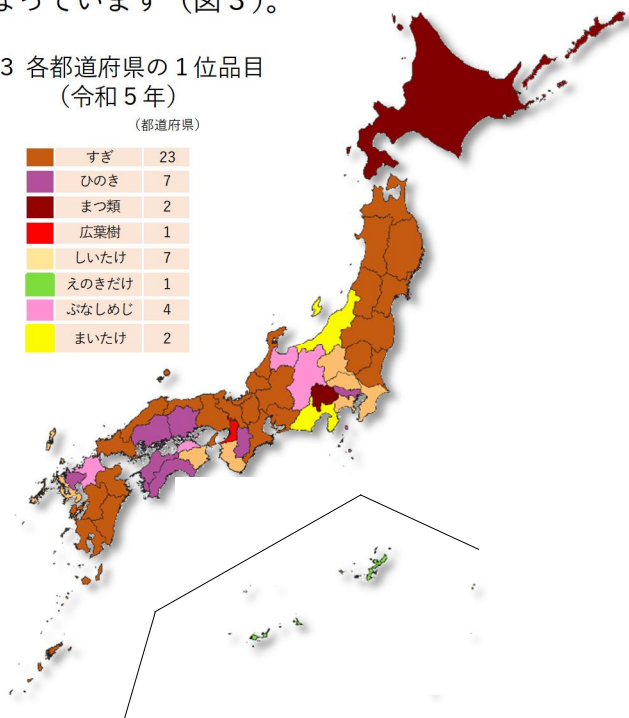
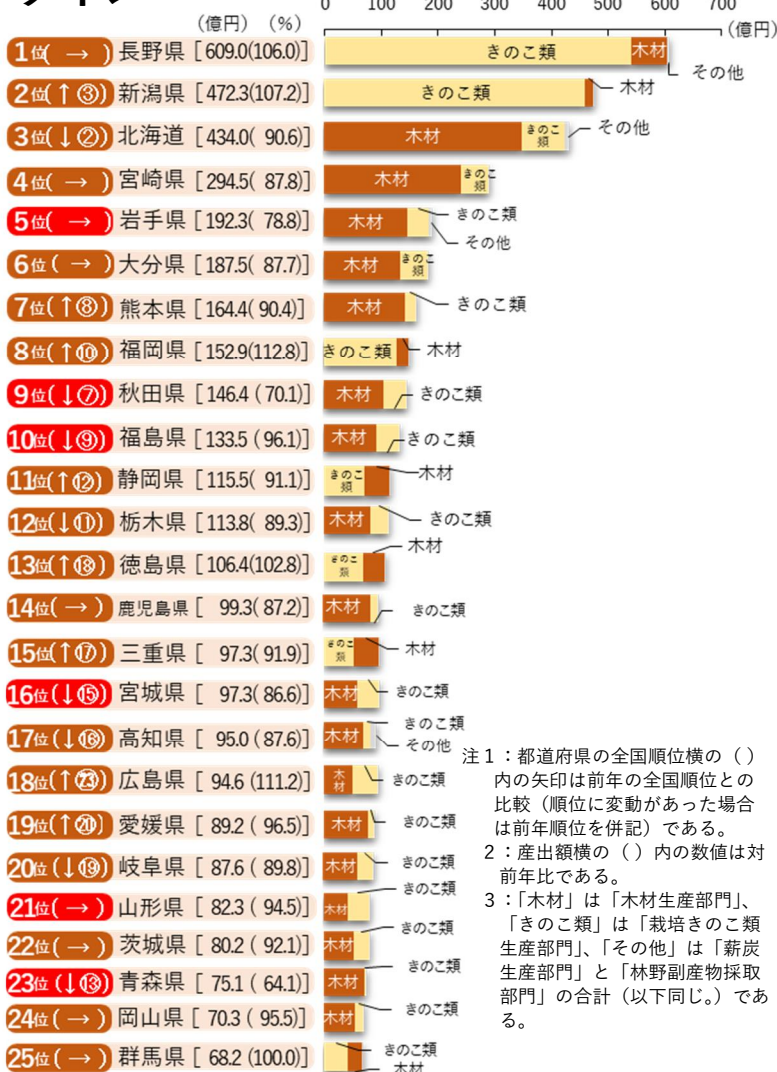


図2 林業産出額の上位25都道府県（令和5年）



注1：都道府県の全国順位横の（）内の矢印は前年の全国順位との比較（順位に変動があった場合は前年順位を併記）である。
2：産出額横の（）内の数値は対前年比である。
3：「木材」は「木材生産部門」、「きのこ類」は「栽培きのこ類生産部門」、「その他」は「薪炭生産部門」と「林野副産物採取部門」の合計（以下同じ）である。



林業産出額上位 10 品目の全国ランキング

東北各県の林業産出額上位 10 品目をみると、岩手県の「あかまつ・くろまつ」、山形県の「なめこ」が全国順位 1 位となっています。各県とも全国順位で上位の品目があり、なかでも岩手県は上位 10 品目のうち 7 品目が全国順位 5 位以内にランクインしています（表）。

表 東北各県の林業産出額上位 10 品目とその全国順位（令和 5 年）

順位	東北	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県
1	すぎ	すぎ	すぎ	すぎ	すぎ	すぎ	すぎ
2	しいたけ (生)	からまつ・ えぞまつ・とどまつ	からまつ・ えぞまつ・とどまつ	ぶなしめじ	しいたけ (生)	なめこ	しいたけ (生)
3	からまつ・ えぞまつ・とどまつ	広葉樹	しいたけ (生)	しいたけ (生)	広葉樹	しいたけ (生)	ひのき
4	広葉樹	あかまつ・ くろまつ	広葉樹	なめこ	からまつ・ えぞまつ・とどまつ	ぶなしめじ	広葉樹
5	なめこ	しいたけ (生)	あかまつ・ くろまつ	広葉樹	なめこ	えのきたけ	なめこ
6	あかまつ・ くろまつ	林野副産物採取	しいたけ (乾燥)	えのきたけ	まいたけ	広葉樹	からまつ・ えぞまつ・とどまつ
7	ぶなしめじ	なめこ	薪炭生産	あかまつ・ くろまつ	林野副産物採取	からまつ・ えぞまつ・とどまつ	あかまつ・ くろまつ
8	ひのき	しいたけ (乾燥)	林野副産物採取	林野副産物採取	ぶなしめじ	林野副産物採取	エリンギ
9	林野副産物採取	薪炭生産	まいたけ	からまつ・ えぞまつ・とどまつ	あかまつ・ くろまつ	まいたけ	林野副産物採取
10	えのきたけ	ひのき	ひのき	ひのき	しいたけ (乾燥)	あかまつ・ くろまつ	しいたけ (乾燥)

注：各県の枠内に記載の順位は、該当品目の全国順位である。赤字は、全国順位が 5 位以上の品目である。



「林野面積 1 ha」、「1 林業経営体」及び「1 農業経営体」当たりの林業産出額

図 4 林野面積 1 ha 当たりの林業産出額(木材生産部門)

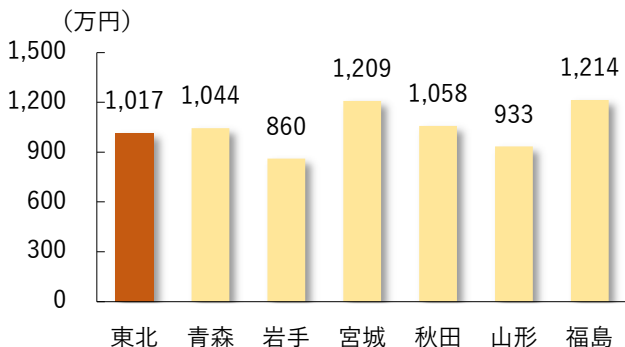
林野面積 1 ha 当たりの木材生産部門の林業産出額は、宮城県が最も高く、東北平均に対して 3,167 円（28%）上回っています（図 4）。

1 林業経営体当たりの木材生産部門の林業産出額をみると、福島県が最も高く、東北平均に対して 197 万円（19%）上回っています（図 5）。

1 農業経営体当たりの栽培きのこ類生産部門の林業産出額は、宮城県が東北平均に対して 2,000 万円（133%）上回っており、他県を大きく引き離しています（図 6）。

図 5 1 林業経営体当たりの林業産出額（木材生産部門）

（令和 5 年木材生産部門産出額(千円)／令和 2 年林業経営体数）



（令和 5 年木材生産部門産出額（千円）／令和 2 年林野面積（ha））

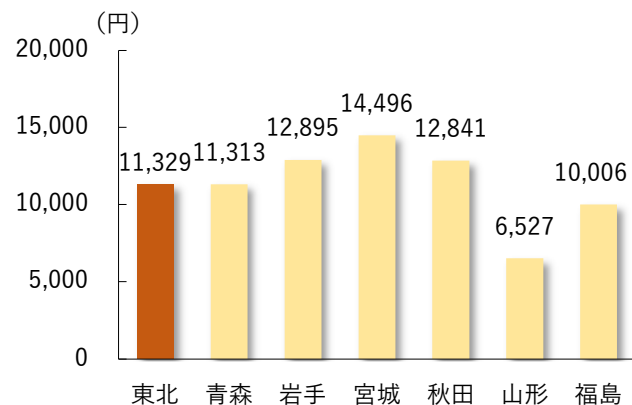
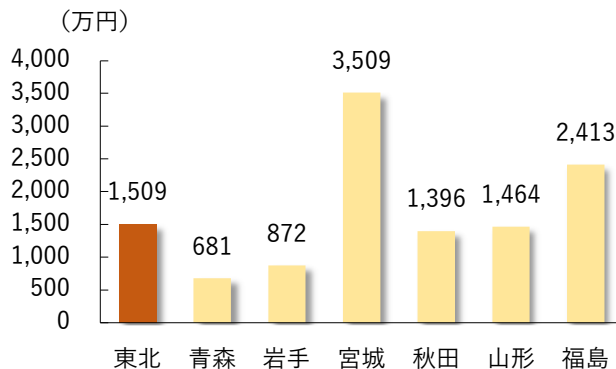


図 6 1 農業経営体当たりの林業産出額（栽培きのこ類生産部門）

（令和 5 年栽培きのこ類生産部門産出額(千円)／令和 2 年きのこの栽培を行っている農業経営体数）



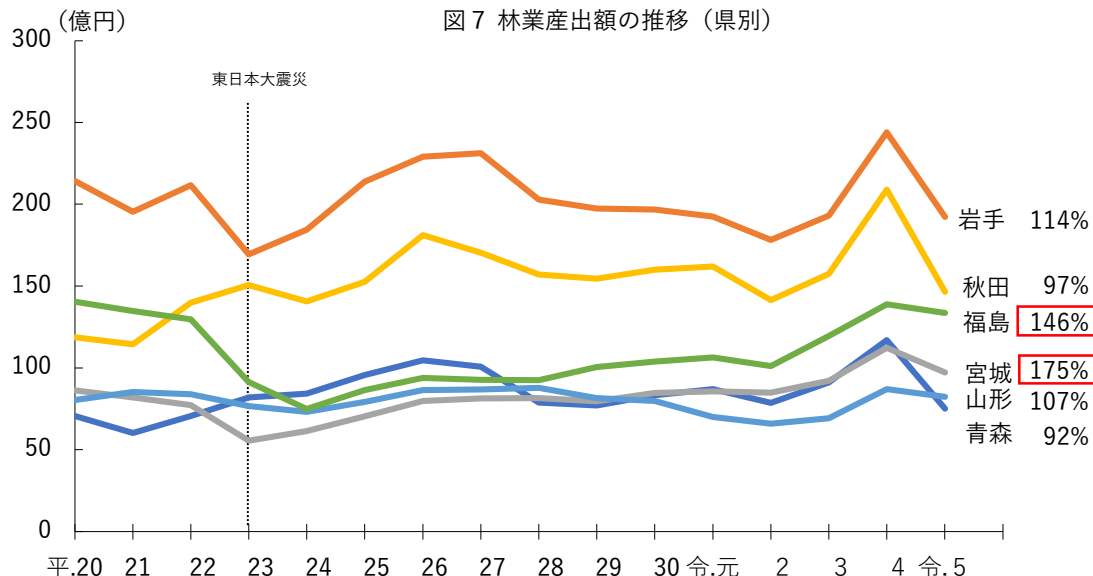
東北 6 県の林業産出額の推移

東北 6 県の林業産出額について、東日本大震災が発生した平成 23 年からの増減率をみると、宮城県（175%）が最も高く、次いで、福島県（146%）となっています。

また、各県とも木材価格が高騰した令和 4 年に比べて大幅に減少しています。

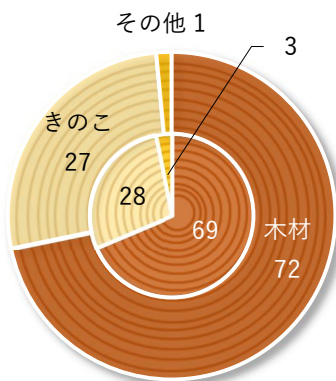
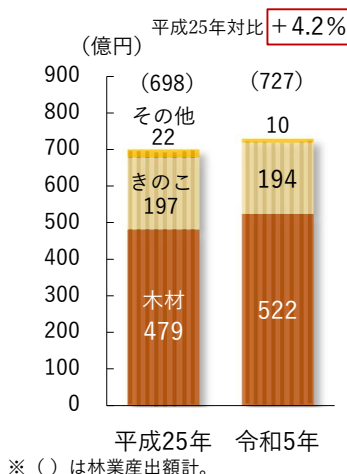
注：県名の横の数値は、東日本大震災発生年（平.23）を 100%としたときの令.5 の割合である。

図 7 林業産出額の推移（県別）



東北合計と東北 6 県の動向（林業産出額と部門別割合）

東北

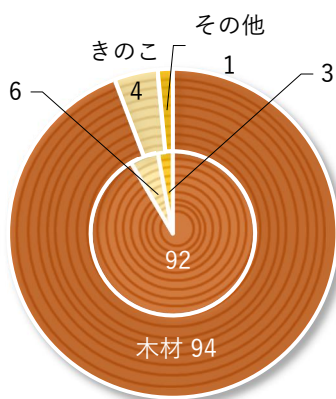
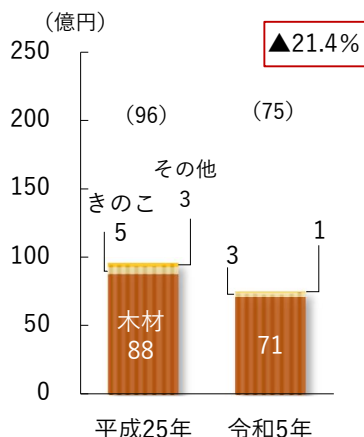


東北の林業産出額は 726 億 9 千万円で、10 年前の 697 億 8 千万円から 29 億 1 千万円（4.2%）増加しました。

これは栽培きのこ類生産部門、その他（薪炭生産・林野副産物採取）部門がそれぞれ減少したものの、木材生産部門が 43 億円増加したためです。

注：円グラフは各部門の構成割合（%）で、外円は令和 5 年、内円は平成 25 年。
林業産出額及び構成割合は表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下同じ。）。

青森

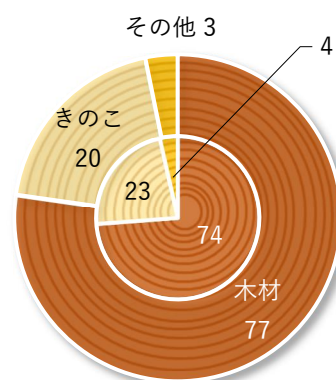
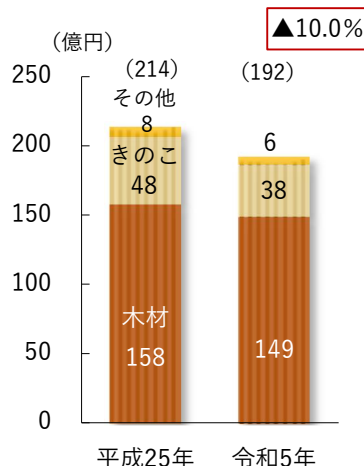


青森県の林業産出額は 75 億 1 千万円で、10 年前の 95 億 6 千万円から、20 億 5 千万円（21.4%）減少しました。

これは木材生産部門が 16 億 7 千万円、栽培きのこ類生産部門が 2 億 1 千万円、その他（薪炭生産・林野副産物採取）部門が 1 億 9 千万円、それぞれ減少したためです。

なお、部門別の林業産出額割合をみると、木材生産部門が増加し、栽培きのこ類生産部門が減少しました。

岩手

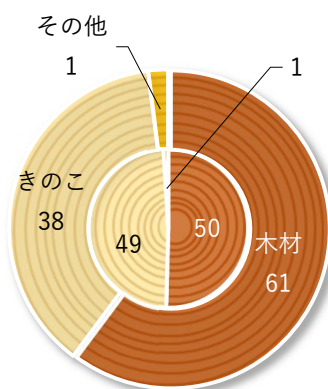
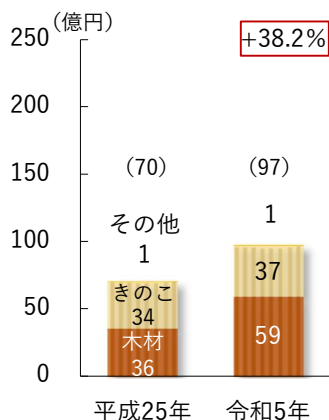


岩手県の林業産出額は 192 億 3 千万円で、10 年前の 213 億 7 千万円から、21 億 4 千万円（10.0%）減少しました。

これは、木材生産部門が 9 億 1 千万円、栽培きのこ類生産部門が 10 億 8 千万円、その他（薪炭生産・林野副産物採取）部門が 1 億 6 千万円、それぞれ減少したためです。

なお、部門別の林業産出額割合をみると、木材生産部門が増加し、栽培きのこ類生産部門が減少しました。

宮城

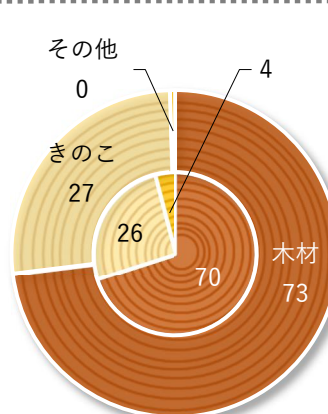
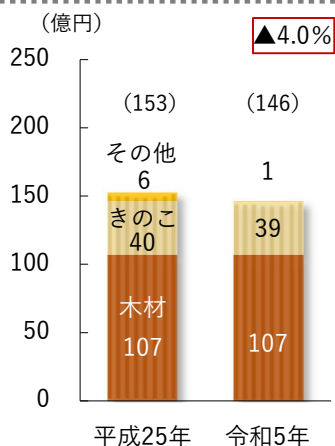


宮城県の林業産出額は 97 億 3 千万円で、10 年前の 70 億 4 千万円から、26 億 9 千万円（38.2%）増加しました。

これは、木材生産部門が 23 億 6 千万円、栽培きのこ類生産部門が 3 億円、その他（薪炭生産・林野副産物採取）部門が 1 千万円、それぞれ増加したためです。

なお、部門別の林業産出額割合をみると、木材生産部門が増加し、栽培きのこ類生産部門が減少しました。

秋田

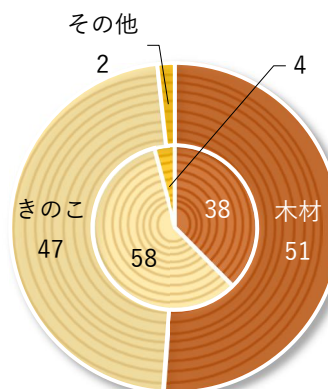
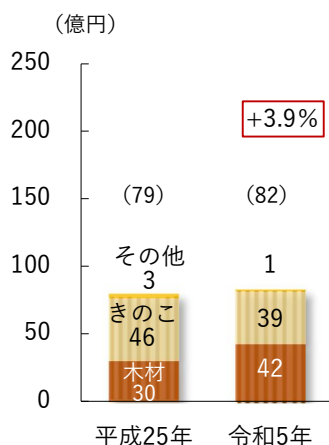


秋田県の林業産出額は 146 億 4 千万円で、10 年前の 152 億 5 千万円から、6 億 1 千万円（4.0%）減少しました。

これは木材生産部門が 1 千万円増加したものの、栽培きのこ類生産部門が 7 千万円、その他（薪炭生産・林野副産物採取）部門が 5 億 6 千万円それぞれ減少したためです。

なお、部門別の林業産出額割合をみると、木材生産部門、栽培きのこ類部門が増加しました。

山形

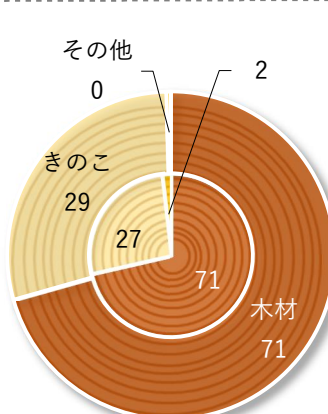
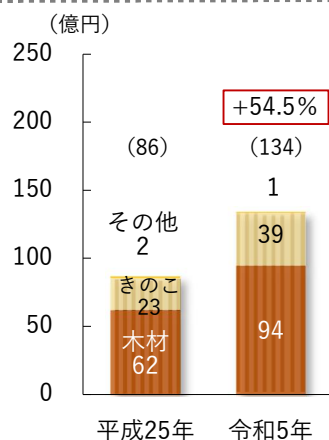


山形県の林業産出額は 82 億 3 千万円で、10 年前の 79 億 2 千万円から、3 億 1 千万円（3.9%）増加しました。

これは栽培きのこ類生産部門が 7 億 3 千万円、その他（薪炭生産・林野副産物採取）部門が 1 億 9 千万円それぞれ減少したものの、木材生産部門が 12 億 3 千万円増加したためです。

なお、部門別の林業産出額割合をみると、木材生産部門が増加し、栽培きのこ類生産部門が減少しました。

福島



福島県の林業産出額は 133 億 5 千万円で、10 年前の 86 億 4 千万円から、47 億 1 千万円（54.5%）増加しました。

これはその他（薪炭生産・林野副産物採取）部門が 1 億 1 千万円減少したものの、木材生産部門が 32 億 6 千万円、栽培きのこ類生産部門が 15 億 5 千万円、それぞれ増加したためです。

なお、部門別の林業産出額割合をみると、栽培きのこ類生産部門が増加しました。

-お問合せ- 農林水産省東北農政局統計部統計企画課 電話：022-745-9378

林業産出額の詳しい情報は、こちらからご覧いただけます。

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/ringyou_sansyutu/index.html

「まふナビ東北」のバックナンバーは、こちらからご覧いただけます

<https://www.maff.go.jp/tohoku/stinfo/bunseki/maffnabi.html>

